

令和6年度（2024年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	理科	科目	地学基礎	学年	第3学年	類型	
単位数	2単位	教科書	地学基礎（実教出版）				
補助教材	ビジュアルプラス地学基礎ノート（実教出版）						

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
------	---

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査		
1 学期	4月	第1章 地球の構成と運動	地球の概観について学び、その内部構造について理解する。 プレートと地球の活動について理解し、地震や火山活動、火成岩の形成について学ぶ。	中間考査		
	5月	1節 地球の構造				
	6月	2節 プレートの運動				
	7月	3節 地震と火山				
2 学期	8月	第2章 大気と海洋	大気圏について理解し、水と気象の関係を学ぶ。 地球全体のエネルギー収支について理解する。	期末考査		
	9月	1節 大気の構造と運動				
	10月	2節 大気の大循環	海洋構造と海水の循環について学ぶ。 日本で見られる冬から春、夏から秋への季節の気象について学ぶ。	中間考査		
	11月	3節 海洋の構造と海水の運動				
	12月	4節 日本の四季の気象と気候				
	3 学期	1月	第3章 宇宙、太陽系と地球の誕生		宇宙の誕生と銀河の分布について学ぶ。 太陽系の惑星の形成過程を学習し、各惑星の特徴を理解し地球と他の惑星の違いを考える。	期末考査
		2月	1節 宇宙の誕生			
		3月	2節 太陽の誕生			
1月		第4章 古生物の変遷と地球環境の変化	地層がどのようにできたかを理解して地球の歴史を知る。 化石から読み取られる生物の進化の過程や地球環境の変遷を学び、生物の繁栄や絶滅には地球環境が影響していることを理解する。			
2月		1節 地層のつき方				
3月		2節 化石と地質時代の区分				
3 学期	1月	第5章 地球の環境	日本における自然災害と防災について学ぶ。 地球環境に及ぼす人間活動の影響について理解する。	学年末考査		
	2月	1節 日本の自然環境				
	3月	2節 地球環境の科学				

学習の方法	日々の授業において基本的な概念や法則を理解していくことが大切です。図を利用しながら地学の基本的概念を理解し、何度も復習しながら基本的知識を身に付けることが必要です。地球や地球を取り巻く環境へ興味を持ち、日常生活や社会との関連を考えながら学習に取り組んでみましょう。
-------	--

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、提出物（課題、ノート、学習プリント等）・小テスト・実験レポート・授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。		